

ホームステイ英語 先輩に学ぼう

静岡文化芸術大(浜松市中区)の学生11人が12日、カナダでのホームステイを控える浜松学院中(同区)の3年生18人に同大で英語

のワークショップを開いた。留学を経験した先輩が現地で使える英会話を教え、渡航前の不安を和らげた。(鈴木凜平)

レストランで使える英会話を中学生に教える大学生たち(左の2人) 浜松市中区の静岡文化芸術大で



静岡文化芸大生が
浜松学院中生を指導



Let's try in Canada

大学生2、3人ずつが場面ごとに5ブースを設けた。中学生も5グループに分かれ、各ブースを15分ずつ回った。

レストランの英会話を教えるブースでは、「おすすめは何ですか(What do you recommend?)」「会計をお願いします(Check please)」などのフレーズを声に出して実践した。

年代の近い大学生との交流で、中学生の海外生活に対する不安を解消してもらおうのも狙

い。大学生は「英語が思い浮かばなくても、身ぶり手ぶりを交えてみて」「私も英語がよく分からなかったけど積極的に話すことで、何とかなったよ」と経験を伝えた。海外でも有名な折り紙を折ってみせてコミュニケーションを取る方法も手ほどきした。

国際文化学科1年の前田絢佳さん(18)は中学の時にオーストラリアでホームステイを経験。

「中学生は不安そうだったけどトライすることが大事だと思

う。ワークショップが役に立てばうれしい」と話した。

中学生は10~11月の10日間、カナダで英語の授業を受け、観光や買い物をする。迫平真治さん(14)は「カナダのことがよく分かった」、高木萌寧さん(14)は「行くのが楽しみになった」と笑顔を見せた。

ワークショップは静岡文化芸大のエドワード・サリッチ准教授が浜松学院中でも教えていた縁で2014年に始まり、6回目。